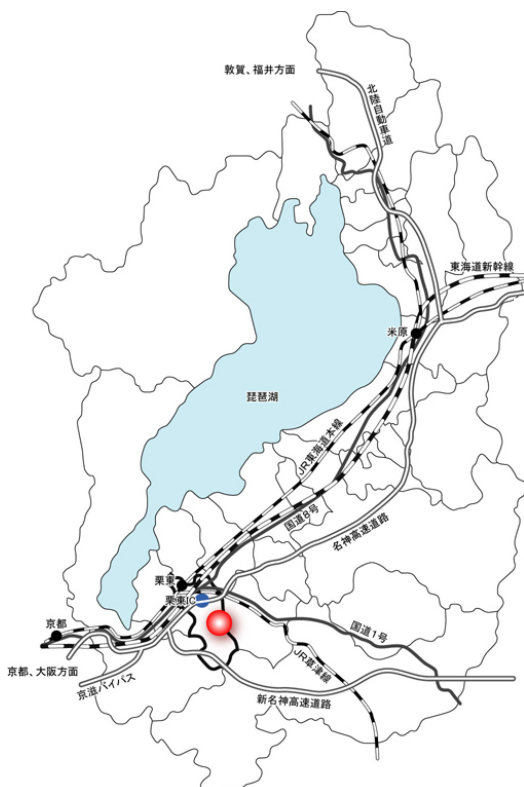


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	琵琶湖を望む「観音寺の里」 水仙街道プロジェクトを通じた魅力・活力の創生
対象地域	滋賀県栗東市観音寺地区
対象地域の概要	 【位置図①（滋賀県全体での位置）】  【位置図②（栗東市全体での位置）】  【アクセス道路から見た集落地域と棚田】  【集落内のメイン道路と琵琶湖への眺望】
提案内容の概要	■多様な主体が参画・連携した「栗東市街道百年ファンクラブ」が主体となって、景観の再発見・再認識による地域住民の意識の醸成、地域資源である間伐材等の活用や空き家を活用した交流事業など新たな交流の仕掛けづくりを行い、観音寺地区の活力の維持と「栗東市街道百年ファンクラブ」の組織強化を目的とする。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	■観音寺集落は、琵琶湖に接しない栗東市において唯一琵琶湖を眺望できる山村集落であるが、アクセス利便性が低く、地域資源である森林環境は荒廃しつつあり、集落地域も空き家の発生、少子高齢化の進展による地域活力の低下が課題となっている。 ■集落全体の高齢化や活力低下が進展する中、集落住民が意識を共有しつつ、知恵を出し合い、汗をかき合い、周辺地域と連携しながら、不便な生活環境であっても、それに勝る快適で健康的な住環境の大切さを発信することが課題となっている。
(2) 活動内容の案	活動①：水仙街道プロジェクト

	内容 ■以前に地域活動の一環として、観音寺集落へのアクセス道路約3kmに水仙を植えていたが、人口減少や高齢化などを背景として維持管理が不十分となっている。 ■観音寺地区の景観資源や手作りの景観の素晴らしさを再認識・再評価するとともに、集落住民や都市住民などの参加を促しながら、新たな交流と意識の気付き・共有を醸成する「水仙街道プロジェクト」として復活し、永続的な地域活動へと育む。 ■『集落の花』としての意識の共有を目指し、市内に唯一残る棚田の畔などにも水仙を繋げていく。 活動② 間伐材活用プロジェクト 内容 ■以前に集落住民有志が約100程度の木製ベンチを製作し、市内の自治会などに販売した実績があるが、人口減少や高齢化、担い手不足などを背景として、購入した木工器具もほとんど使われていない状況となっている。 ■このため、手作り感・素材感のあるあたたかい景観づくりが求められている歴史街道にふさわしい木製のベンチづくりワークショップ『(仮称) 街道にベンチを！』を開催し、歴史街道沿道住民と集落住民が交流してベンチづくりを実践する。 ■上記の新たな交流に加えて、水仙街道や寺社などの案内看板や集落までの案内表示板づくりにも波及させ、集落住民のヤル気の醸成と森林環境の維持・保全の仕組みづくりを目指す。 活動③ 地域主導のあかりの演出プロジェクト 内容 ■「栗東市街道百年ファンクラブ」は、観音寺集落が平成21年3月23日の第1回百年審議会の開催場所となったため、豊かな地形条件を活かした「あかりの演出」を行い、集落住民の景観に関する意識づくりを実践した。 ■これにより、集落住民の中にも景観に対する関心が高まりつつあるため、永続的なまちづくり活動がひとつの文化として根付くことを目指し、集落住民が主体となったまちづくり活動としての竹灯籠づくりや地域主導によるあかりの演出を実践する。 ■なお、あかりの演出は、移住や2地域居住など新たな交流の仕掛けづくりのひとつとして、戦略的に実施する。 活動④ 古民家活用プロジェクト 内容 ■観音寺集落は、地形条件により夏は涼しく、冬には雪が積もり、平野部の滋賀県湖南地域にはない気候・風土を有しており、日常的な都市生活の雑踏から離れた環境は、学識経験者や画家、写真家などからも高く評価されている。 ■集落内に発生している古民家の空き家を活用した日常的な憩いの場、まちづくり座談会の場づくりなどを社会実験として実施し、集落固有の地域資源を活かした移住や2地域居住へのきっかけづくりを行う。
応募団体名	栗東市街道ものがたり百年協議会
リンク	http://www.city.ritto.shiga.jp/index/menu/323/
部局／担当者名	栗東市建設部都市計画課 竹山和弘
連絡先	077-551-0349
推薦市町村名	滋賀県栗東市